

厚生労働省

東海北陸厚生局



RECRUIT GUIDE



採用案内



ひと、
くらし、
みらいのために



一人で抱え込むことなく仕事ができる

Q.東海北陸厚生局を選んだ理由は?

医療、福祉、年金といった地域住民の健康と福祉の向上を支える東海北陸厚生局の業務に魅力を感じ、志望しました。

Q.現在担当している業務について教えてください。

補助金の執行業務や民生委員・児童委員、養成施設(栄養士や介護福祉士等)に関する書類審査を行っています。

Q.実際に入局してみて感じたことは?

想像以上に質問しやすい雰囲気があると感じました。上司や先輩は忙しい中でも疑問点を相談すると、的確かつ丁寧にフィードバックをしてくれます。重要な案件に携わることもあるため、一人で抱え込むことなく仕事ができる点はこの上なくありがたいと感じております。学びの機会も多く、安心して業務に取り組める環境だと実感しています。



健康福祉課 一般職員 採用1年目

●1日のスケジュール

8:30 始業・メール確認

12:00 昼食

13:00 補助金に関する申請書の審査及び執行

9:00 民生委員・児童委員や養成施設に関する書類調査

17:15 退庁



指導監査課 一般職員 採用2年目

丁寧にサポートしてくれる環境

Q.東海北陸厚生局を選んだ理由は?

大学で福祉や医療に関して学んでおり、人々の生活の基盤を支える厚生局の業務に魅力を感じ、志望しました。

Q.現在担当している業務について教えてください。

保険医療機関の指定に関する業務を担当しており、医療機関や薬局の方と面談をしながら申請書類の受付を行っています。また、保険医療機関の指定について審議を行う医療協議会の部会に向けて、資料作成や課内での情報共有などの準備を行い、運営にも携わっています。

Q.実際に入局してみて感じたことは?

相談や質問がしやすい職場だと感じています。電話や来客対応で判断に迷う場面も多々ありますが、周囲の方に相談しながら対応できるため、安心して業務に取り組むことができている。丁寧にサポートしていただける環境が整っており、日々学びながら業務への理解を深めています。

●1日のスケジュール

8:30 始業・メール確認

12:00 同期と昼食

15:00 医療協議会愛知部会の資料作成

9:00 保険医療機関等の指定申請の受付

13:00 指定申請書類の審査・システム入力

17:15 退庁



岐阜事務所 一般職員

Q.現在担当している業務について教えてください。

担当業務は、保険医療機関等からご提出いただいた各種届出の審査を担当しています。届出書類について関係法令との照合を行い、適正な運用の確保に努めています。

Q.所属している課の雰囲気はどのようなですか？

職員同士のコミュニケーションが取りやすく、和気あいあいとした雰囲気、相談や連携しやすい職場です。慣れないことも多いですが、上司や先輩には丁寧に教えていただけるので、とてもありがたいと感じています。

Q.休みの日はどのように過ごしてリフレッシュしていますか？

休日は、夫婦で外出したりショッピングを楽しんだりして、気分転換を図りリフレッシュしています。また、音楽を聴くことが大好きなのでライブへもよく足を運んでいます。

Q.現在担当している業務について教えてください。

私は会計課で、契約手続き、日々の支払いから予算の執行管理まで幅広く業務を担当しています。会計と聞くと“黙々と数字を扱う仕事”というイメージがあるかもしれませんが、実際には業者との調整や各部署の職員と予算の相談をしながら仕事を進める場面も多いです。正確さが求められる責任ある仕事ですが、その分やりがいも感じています。

Q.所属している課の雰囲気はどのようなですか？

会計課は書類や数字を扱うため、普段は落ち着いた雰囲気です。一方で、必要なときには部署内外でのコミュニケーションが活発で、相談や確認がスムーズに行える環境です。困ったときにはすぐに声をかけ合えるため、自然と助け合いが生まれる職場です。

Q.休みの日はどのように過ごしてリフレッシュしていますか？

休みの日は、子どもと公園で遊んだり、一緒に出かけたりして過ごすことが多いです。また、時間を見つけてジムで筋トレをすることもあります。体を動かすと気分が切り替わり、仕事にも良い影響が出ていると感じています。



会計課 経理第一係長

先輩職員(出向経験者)へのインタビュー

Q.出向していた時の業務内容について教えてください。

社会福祉法人制度を所管する係に2年間出向しました。上司の係長の下で、全国の自治体からの問い合わせへの回答、システム運用の調整、外部有識者の方との検討会の事務局等を担当しました。(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課に出向)

Q.出向して感じたことを教えてください。

出向中に法改正があり、事業者団体や国会議員の方へ上司が説明する場に同行しました。法律施行までの大変さを感じた一方で、制度を適切に運用することの重要性を認識しました。休日の東京散策も刺激的でした。

Q.受験生へのメッセージをお願いします。

厚生局では若手職員の内から、本人の希望もふまえ、本省等に出向することが可能です。職員数が控えめな分、一人一人が自身の経験を糧に将来の課長級候補として存在感を発揮しています。厚生局の仕事に興味を持たれた方はぜひお越しください!



保険年金課 社会保険監査専門官

課長級職員へのインタビュー

Q.現在の課の業務について教えてください。

年金審査課は、厚生年金保険や国民年金について、国の記録と事実が相違しているとして国民から訂正の請求があった場合に、調査・審査・決定を行う部署です。専門的な知識を持つ調査員とともに、ご本人や会社、行政機関など様々な関係先から資料を収集し、丁寧に確認したうえで、有識者で構成される審議会に諮問し、その議決及び答申を踏まえ、訂正の可否を決定します。一件一件が請求者の生活に直結するため、公正かつ丁寧な判断が求められます。

Q.業務で感じたやりがいを教えてください。

丁寧な調査により記録訂正が認められ、請求者の安心につながったと感じられたときに、大きなやりがいを感じます。

Q.どのような人に厚生局に来てほしいですか？

公正さを大切にし、国民の立場に寄り添える方、ぜひ一緒に働きましょう!



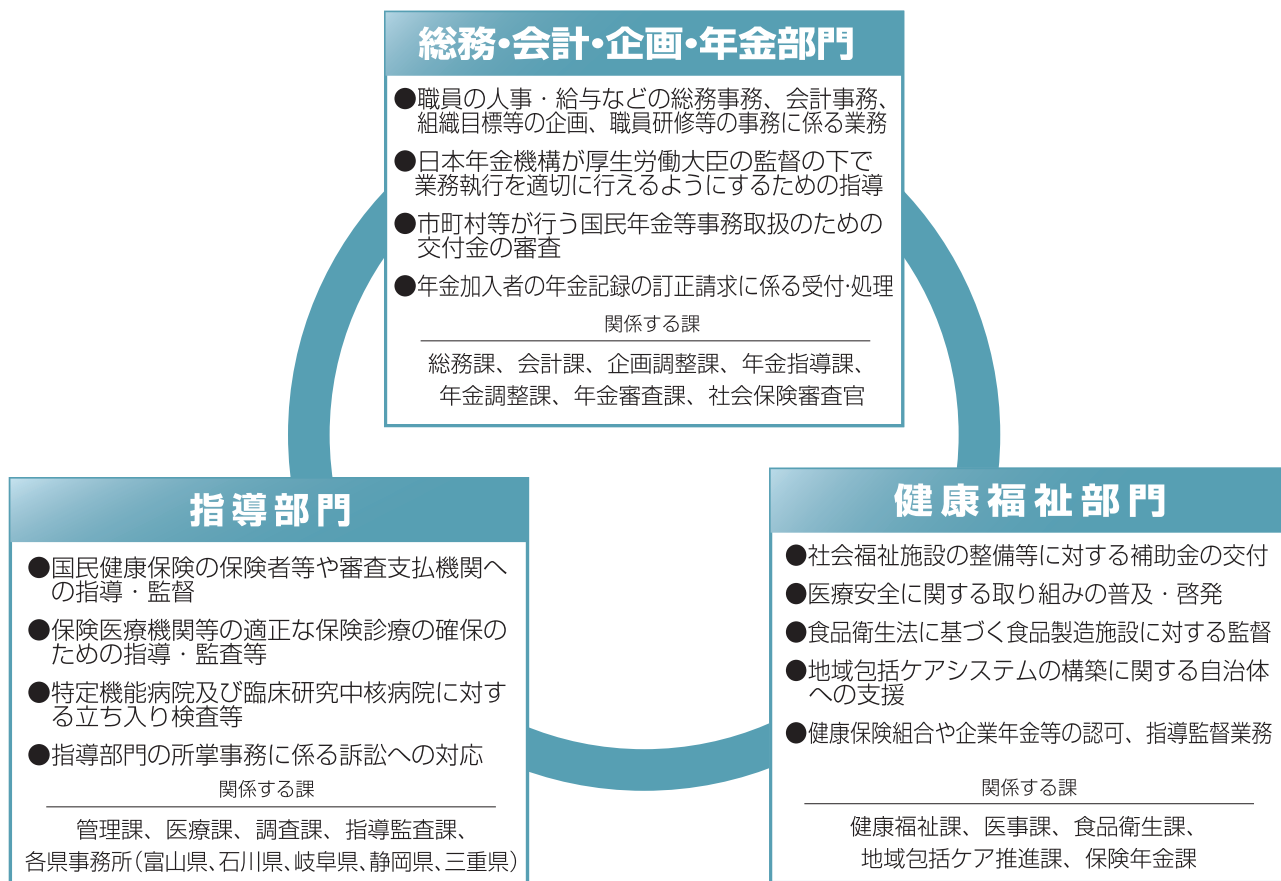
年金審査課 課長

採用後のキャリアパスについて



配属先について

東海北陸厚生局は、東海北陸地区（6県）を管轄とし、医療、健康、福祉、年金などの国民生活の安全と安心を担う国の政策実施機関です。入局後は3つの部門を中心に異動を重ね、医療保険制度の適正化、地域福祉の推進、総務・会計関係など幅広い業務の経験を積み、キャリアアップをしていきます。



ワークライフバランス推進についての取組

東海北陸厚生局では、性別や障害の有無、家族の育児・介護等の事情にかかわらず、働きやすい職場づくりを進めつつ、行政サービスの向上に取り組んでいます。

育児

妊娠～産後	産前産後休暇	産前6週間、産後8週間を経過するまでの期間、休暇を取得できます。
	男性職員の配偶者出産休暇	妻の出産のための入院～出産後2週間までの間に、2日まで休暇を取得できます。
	男性職員の育児参加休暇	妻の出産予定日の6週間前から出産の日以後1年の間に、5日まで休暇を取得できます。
産後～3歳	育児休業	配偶者の就労状況にかかわらず、育児休業を取得できます。加えて男性職員は、産後パパ育休を取得することができます。
産後～小学校就学前	育児時間	1日につき2時間の範囲内または1年につき10日相当の勤務時間の範囲内で勤務しないことが認められます。
	育児短時間勤務	勤務時間を1日3時間55分（週19時間35分）など、通常（1日7時間45分）よりも短縮できます。
	超過勤務の免除	小学校就学前の子の療育のために、申請をした上で超過勤務が免除されます。
産後～小学校3年生まで	子の看護等休暇	年5日まで（対象となる子が2人以上の場合には年10日）の範囲内で1日又は1時間単位で休暇を取得できます。

介護

配偶者・父母・子等の介護をする場合（短期介護休暇は、その他の世話（手続きの代行等）を行う場合にも取得可能）

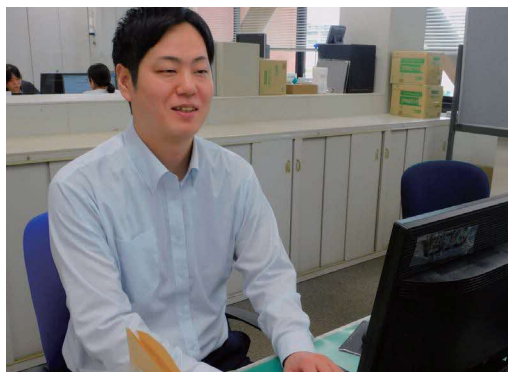
介護時間	介護休暇	短期介護休暇
1日につき2時間の範囲内で30分単位により介護のための時間を取得できます。	6月の期間内で必要と認められる期間、休暇を取得できます。	年5日まで（対象となる要介護者が2人以上の場合は年10日）、1日又は1時間単位で休暇の取得ができます。

育児・介護共通

小学校就学前および小学校卒業までの子どもを養育、又は配偶者・父母・子等を介護する場合

早出遅出勤務	深夜勤務・超過勤務制限
始業、終業時間を繰り上げ又は繰り下げて勤務することが認められます。 ※育児の場合は小学校卒業まで。	深夜における勤務をしないことができ、超過勤務が月24時間・年150時間以内に制限されます。 ※育児の場合は小学校就学前まで。

育児休業制度を利用した職員からのメッセージ



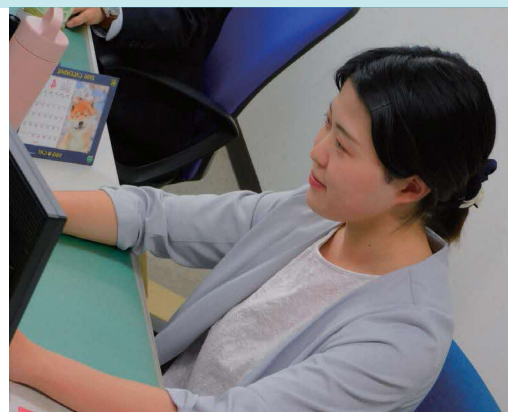
地域包括ケア推進課
医療介護連携推進係長

家族との時間を大切にしながら子育てに向き合い やりがいのある仕事に挑戦できる

私は、育児休業を経て、令和8年4月から地域包括ケア推進課に配属となりました。現在は家族との時間を大切にしながら子育てに向き合っています。職場には男性の育休取得を自然に受け入れる雰囲気があり、上司や周囲の方々の理解と温かいサポートのおかげで、安心して制度を利用することができました。日々のご配慮に感謝しています。フレックスやテレワークも活用しやすく、ライフイベントと仕事を無理なく両立できる環境だと実感しています。地域包括ケアというやりがいのある仕事に挑戦しながら、私生活も大切にできる職場で、将来、みなさんと一緒に働けることを心から楽しみにしています。

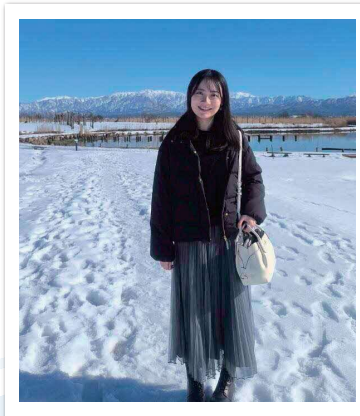
計画的に進めやすい環境と 理解ある仲間の支えに感謝しながら、 メリハリを持って働いています

小学1年生と年少の男児を育てています。朝は上の子の分団登校を見送り、下の子を自転車で保育園へ送り届けるのが日課です。午後は、下校の早い上の子は実家で宿題を見てもらい、下の子は私が迎えに行く形で、家族のサポートを受けながら日々を過ごしています。30分の休憩時間短縮や1時間の育児時間を活用して早めに退庁することで、学校や保育園での出来事を聞いたり、就寝前に読み聞かせをしたりと、平日の夜も子どもたちと向き合う時間を持っています。業務量が増える時期もありますが、計画的に進めやすい環境と、上司・同僚の理解ある支えに感謝しながら、メリハリを持って働いています。



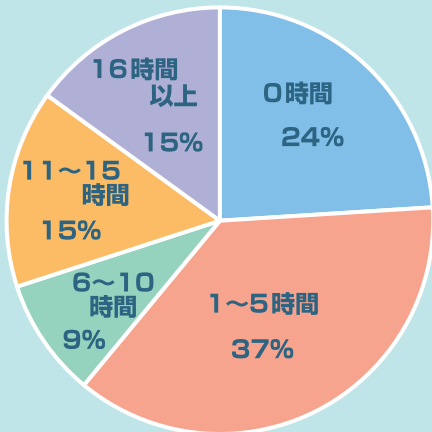
総務課 主査

プライベートの過ごし方

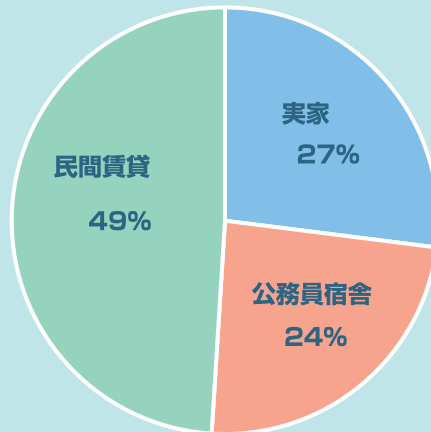


若手職員へのアンケート

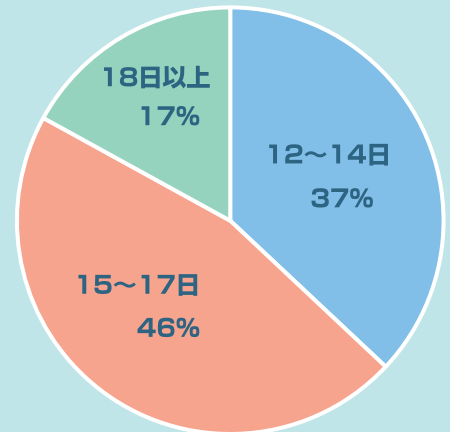
1ヶ月当たりの残業時間は？



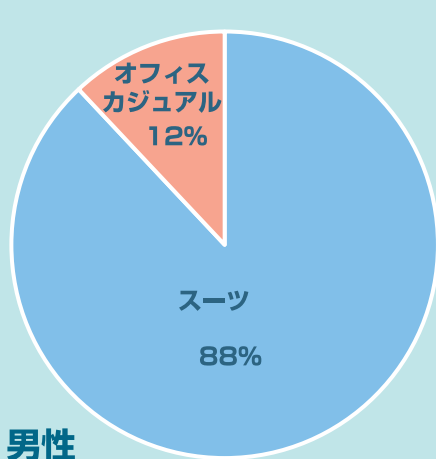
住居はどうしていますか？



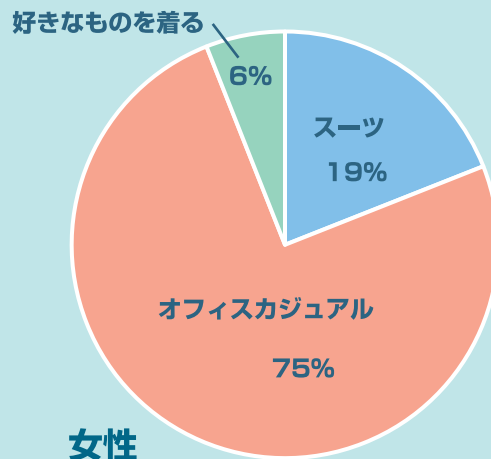
年に休暇を何日取得しましたか？



職場での服装は？

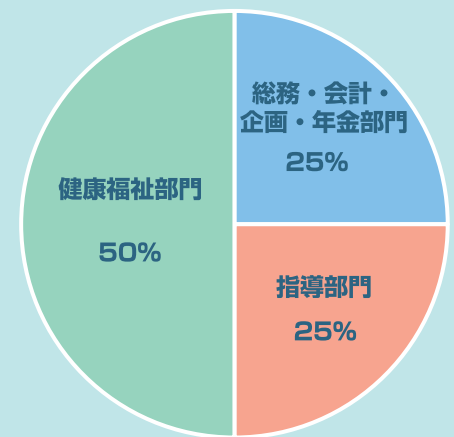


男性



女性

配属先の部門 (対象:1~2年目の職員)



厚生局の魅力をお教えてください！

- ・業務は様々ですが、福祉・医療・年金分野を管轄する局として、その関連分野に関わり続けることができます。
- ・周囲の方々がとても親切で、疑問や不安があれば丁寧に教えてくださり、一緒に考えてくれる温かい職場環境です。
- ・困ったときも一人で抱え込まず、相談しながら進められるため、安心して業務に取り組むことができます。

入局前後で印象の変化はありましたか？

- ・職場研修が充実していることに驚きました。厚生労働行政だけでなく、業務を効率的に進ませていくうえで必要な研修を受講することができ、手厚さを感じました。
- ・職場の雰囲気は静かなデスクワーク中心というイメージとは異なり、相談や連携が多く、明るい雰囲気です。部署によっては厚生労働省の関係部局と直接やり取りする機会が多いため驚きました。

厚生局を志望した理由は何ですか？

- ・国民の安心を守る仕組みを支える仕事に携わりたいという思いがあり、医療や福祉の面から国民生活を支えられる点に魅力を感じました。
- ・官庁ツアーや業務説明会では、職員の方々が丁寧にさまざまなことを教えてくださり、職場の雰囲気の良さを感じました。

入局後、印象に残った出来事がありましたか？

- ・能登半島地震で被災した福祉施設に対する補助金の交付業務です。甚大な被害の中で大変な業務でしたが、現地視察の機会も多く、非常にやりがいを感じました。
- ・本省コロナ本部に2週間応援に行ったことです。緊急事態下で責任も大きかったですが、他局や本省職員と一緒に仕事をし、現場の温度感を知る貴重な経験になりました。
- ・診療報酬改定を経験したことです。電話対応や届出書の審査に苦労しましたが、改定を乗り越えた時は達成感がありました。

「ひと、暮らし、みらいのために」

東海北陸厚生局は、厚生労働省の地方支分部局の一つとして、医療、健康、福祉、年金、麻薬取締などの国民生活の安全と安心を担う、地域社会における身近な国の政策実施機関です。私たちは「ひと、暮らし、みらいのために」を合言葉に、現在だけでなく未来にわたり、人や暮らしを守るという役割を果たすため、誇りと使命感を持って日々職務に臨んでいます。東海北陸厚生局で未来の暮らしを支える仲間になりませんか。あなたのご応募を心からお待ちしています。

東海北陸厚生局Q&A

Q.採用に当たって厚生行政に関する専門知識は必要ですか？

A.採用時において、特別な専門知識は必要ありません。東海北陸厚生局では、医療・健康・福祉・年金など、国民の健康で安全・安心な暮らしを支える業務を行っています。さまざまな事柄に広く関心を持っている人は大歓迎です。

Q.職員研修はどのような研修がありますか？

A.新規採用者は、4月採用後すぐに研修を受講します。その他にも厚生局業務に関する研修、新規採用者等フォローアップ研修、タイムマネジメント研修、福祉施設等での実務研修などがあります。さらには、人事院や日本年金機構など外部機関が開催する研修にも参加する機会があり、職員の更なるスキルアップを図っています。

Q.人事異動について教えてください

A.多くの職員の異動は概ね2～3年ごとです。年1回の意向調査により本人の希望や事情を確認するとともに、能力・適性を勘案して人事異動が行われています。転勤は基本的に東海北陸厚生局の管轄区域内となりますが、厚生労働省本省や地方自治体、日本年金機構、国立病院機構等に出向して経験を積む職員もいます。

官庁訪問時のアドバイスを教えてください！

- 官庁訪問や面接では、市区町村・都道府県・国という三主体の違いを理解したうえで志望動機を考えておくことが大切です。業務理解については、業務パンフレットや採用パンフレットをしっかりと読み込むことをおすすめします。
- なかなか難しいと思いますが、自分に自信を持つことが大切だと思います。そのために、事前に準備をしておくことが必要だと思います。
- 振り返ると面接官の方々は自然な会話を求めているように感じます。緊張で会話が固くならないよう、落ち着いて会話を楽しむ姿勢が大切だと思います。
- これから一緒に働く方に面接していただくので、誠実な姿勢で会話を楽しみつつ、厚生局で働きたいという意思を伝えると良いと思います。
- 説明会などの機会では、ただ参加するだけでなく、他の参加者にも話しかけて仲間を作ることをおすすめします。情報交換ができるだけでなく、一緒に頑張る仲間がいる心強さにもつながります。準備を入念に終えたら、官庁訪問当日は会話のラリーを楽しんでください。
- 就職活動の時期は疲れがたまりやすいので、美味しいものを食べたり、リフレッシュの時間も大切にしたりして頑張ってください。

ひと、暮らし、みらいのために



東海北陸厚生局



公式 HP



Instagram



YouTube